

11 月定例所長会見における横村所長挨拶内容

○ 所長の横村でございます。本日は、私の方から 3 点申し上げます。

○ まずは、プラントの状況についてです。

昨日お知らせいたしました、1 号機の原子炉冷却材浄化系ポンプ室で水漏れが確認されました。当該系統を復旧するために水張り作業を行っていたところで発生した事象で、現在、水漏れの原因について調査を進めているところであり、しっかりと原因を確認し対策を取ってまいりたいと思います。

3 号機につきましては、現在、中越沖地震後の点検・復旧作業、耐震強化工事を鋭意進めているところですが、本日、系統機能試験に関する計画書を原子力安全・保安院へ提出いたしました。明日、原子力安全・保安院の設備健全性評価サブワーキンググループが開催される予定ですが、この場において 3 号機の系統機能試験についてご説明する予定です。この審議をいただいた後に、準備が整った段階で系統機能試験を開始してまいります。系統機能試験については、全 26 項目の試験を実施していくこととしております。

5 号機につきましては、当社から地元自治体へ運転再開のお願いをさせていただいているところですが、先月 28 日には新潟県の技術委員会においてご審議いただき、現在、その審議結果の取りまとめが行われているところと聞いております。今後は、地元自治体のご意向を踏まえながら、適切に対応してまいります。

6 号機は先月 31 日より第 9 回の定期検査を開始しております。今回の定期検査は 6 号機にとっては中越沖地震後に初めてとなる検査でもあり、その後のプラントの状況に影響がないかなどを含め、しっかりと確認していく予定です。

7 号機では使用済制御棒でひびが認められましたが、この対応の一環として、4, 5, 7 号機の使用済燃料プールで保管をしている同型の使用済制御棒の外観点検

を行っているところです。現在、5号機と7号機の点検を進めておりますが、昨日お知らせをした通り、2本の使用済制御棒のタイロッド等にひびが確認されております。今後も継続して点検を進めてまいります。

また、現在運転中の7号機では、25本のハフニウムフラットチューブ型制御棒を使用しておりますが全挿入をしている2本を除く23本について、11月6日に動作確認を行い、制御棒動作に問題がないことを確認しております。現在、原子炉内で使用している同型の制御棒については、中性子照射量が比較的少なく新しいものですが、今後も定期的に同制御棒の動作確認を実施していく予定としております。

加えて、最初にタイロッドでひびを確認した使用済制御棒については、サンプルを採取し、社外の照射後試験施設において破面観察などを行い、ひびの発生原因等の調査も平行して進めているところです。

これらの調査結果につきましては、調査結果が取りまとまった段階でお知らせさせていただきます。

○ 2点目は、「ふれあい訪問」活動の実施についてです。

当発電所では、今年29日～12月11日までの約2週間の予定で、当社社員が地域の皆さまのご家庭を訪問させていただき、地域の方々の声を直接お聴きする「ふれあい訪問」活動を実施いたします。

この活動は、平成17年度より年2回行っており、今回で通算11回目となりますが、私自身も前回の夏に引き続き、この「ふれあい訪問」活動に参加し、地域の皆さまからのご意見やご要望を直接お聴きしたいと考えております。

当発電所といたしましては、「ふれあい訪問」や様々な機会を通じて地域の皆さまの声や思いをお聴きし、発電所の業務運営にしっかりと反映してまいります。

○ 3点目は、改善事例発表会の開催についてです。

今年30日に発電所内において平成22年度の改善事例発表会を開催いたします。この改善事例発表会は、これまでは柏崎刈羽企業協議会の主催で毎年実施してきておりましたが、当社社員もこの発表会へ参加することにより、これまで以上に発電所全体で改善意識を高めていく効果があると考え、今年度からは「品質月間」の一環として柏崎刈羽原子力企業協議会と当社が合同で開催することといたしました。

企業協議会と当社が合同で主催するのは今回が初めてとなりますが、今回は当社と協力企業あわせて 13 事例について紹介する予定で、日頃、各社が実践している業務の改善への取り組みやその成果について紹介しあい、お互いの良いところを取り入れ、当社と協力企業が切磋琢磨し、より良い発電所にして行こうという取り組みです。

こうした活動を通じて、当社と協力企業が一体となり、より一層の発電所の品質向上、安全管理に努めてまいります。

○ 本日、私からは以上です。

以 上

添付) 柏崎刈羽原子力発電所DATA BOX
プレス公表 (運転保守状況)

柏崎刈羽原子力発電所DATA・BOX(平成22年11月)

平成22年11月11日

① 発電所運転状況

プラント名	現在の 運転(発電)状況	前回定期検査	過去1年間の運転状況											補足説明
			12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
1号機 110万kW (S60.9.18運開)	運転中	第15回 H19.5.4～H22.8.4 停止期間 H19.5.4～H22.6.6 (1130日) (原子炉起動H22.5.31)	第15回定期検査による停止											
2号機 110万kW (H2.9.28運開)	第12回定期検査中 定検停止期間:H19.2.19～	第11回 H17.9.3～H18.5.9 停止期間 H17.9.3～H17.12.25 (114日) (原子炉起動H17.12.22)	第12回定期検査による停止											
3号機 110万kW (H5.8.11運開)	第10回定期検査中 定検停止期間:H19.9.19～	第9回 H18.5.12～H18.9.15 停止期間 H18.5.12～H18.7.27 (77日) (原子炉起動H18.7.24)	第10回定期検査による停止											
4号機 110万kW (H6.8.11運開)	第10回定期検査中 定検停止期間:H20.2.11～	第9回 H18.4.9～H19.1.11 停止期間 H18.4.9～H18.12.14 (250日) (原子炉起動H18.12.11)	第10回定期検査による停止											
5号機 110万kW (H2.4.10運開)	第12回定期検査中 定検停止期間:H18.11.24～	第11回 H17.7.4～H17.11.2 停止期間 H17.7.4～H17.10.8 (97日) (原子炉起動H17.10.8)	第12回定期検査による停止											
6号機 135.6万kW (H8.11.7運開)	第9回定期検査中 停止期間:H22.10.31～	第8回 H19.5.24～H22.1.19 定検停止期間:H19.5.24～H21.8.31 (831日) H21.12.26～H22.1.8 (14日) (原子炉起動H21.1.6)	第9回定期検査による停止											【6号機】 ・10月31日から第9回定期検査開始。(お知らせ済み)
7号機 135.6万kW (H9.7.2運開)	運転中	第9回 H22.4.18～H22.7.23 H22.4.18～H22.6.28 (72日) (原子炉起動H22.6.26)	第9回定期検査による停止											【7号機】 ・10月1日から漏えい燃料周辺の制御棒6本を挿入した状態で、定格熱出力一定運転中。(お知らせ済み)

※プラント名欄に記載してある出力は「定格電気出力」

② 発電所設備利用率(%) (10月末現在)

10月	46.6%
22年度累計	36.6%
運転開始後累計	65.0%

③ 発電所発電電力量(万kWh) (10月末現在)

10月	284,648
22年度累計	1,542,712
運転開始後累計	83,246,973

④ ドラム缶発生量(本) (H22年度第2四半期)

当期発生本数	966
貯蔵庫累積貯蔵本数	30,533
貯蔵庫保管容量	45,000

⑤ 使用済燃料貯蔵体数(体) (H22年度第2四半期)

使用済燃料貯蔵プール貯蔵体数	12,820
使用済燃料貯蔵プール管理容量	16,915
使用済燃料貯蔵プール貯蔵容量	22,479

⑥ 構内従業員データ(人) (11月1日現在)

		東京電力	協力企業	比率
県内	柏崎市	867	2,922	51%
	刈羽村	83	258	5%
	その他	104	1,039	15%
	小計	1,054	4,219	71%
県外		99	2,074	29%
合計		1,153	6,293	—
		7,446		100%
協力企業社数(社)		843		

※「比率」について端数処理の関係で数値と計が含まない場合がある。

⑦ 来客情報(人) (10月末現在)

	10月	年度累計
地元	3,158	13,180
県内	2,011	10,790
県外	3,732	21,362
国外	102	482
合計	9,003	45,814

⑧ 今後の主なスケジュール

予定日	内容
11月13日	柏崎・夢の森公園で「森づくり活動」!! (柏崎・夢の森公園)
11月18・19日	第143回名画鑑賞会 (柏崎エネルギーホール)
11月20日	Comfy サイエンススクール (カムフィー)
11月18・25日	骨盤体操 (柏崎エネルギーホール)
11月29日～12月11日	ふれあい訪問
12月9日	次回定例所長会見予定
12月12日	とうでん 今. 話. 会. (柏崎市民プラザ 海のホール) 「整理収納術 ～お正月をすっきり迎える～」講師:飯田 久恵

インターネットホームページアドレス
<http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/index-j.html>

東京電力株式会社
 柏崎刈羽原子力発電所
 広報部
 0257-45-3131(代)

プレス公表（運転保守状況）
～中越沖地震関連を除く～

平成22年11月11日
定例所長会見資料

No.	お知らせ日	号機	件名	内容
①	10月21日	1号機	原子炉冷却材浄化系ポンプ室（管理区域）における水漏れについて（区分Ⅲ）	<p>（事象の発生状況） 定格熱出力一定運転中の1号機において、平成22年10月20日午前10時10分頃、パトロール中の当社社員が、原子炉建屋地下4階の原子炉冷却材浄化系ポンプ（B）室（管理区域）において、配管接続部から水が床面に滴下していることを発見しました。滴下した水は漏えいの拡大を防止するための堰内にとどまっており、堰内の床面に溜まっていた水の量は約6リットル、放射量は約9.1×10^5ベクレルでした。その後、原子炉冷却材浄化系ポンプ（B）の運転を停止し、漏えい箇所を隔離したことにより、漏えいは停止しております。</p> <p>（安全性、外部への影響） 本事象により漏れた水は、同ポンプ室の堰内にとどまっており、外部への放射能の影響はありません。</p> <p>（対応状況） 漏えいの状況および原因調査の結果、作業環境が悪い中で組立てを行ったことにより、配管接続部のシール面に傷が生じ、このシール面から系統水が流れパッキンが劣化し、漏えいに至ったものと推定しました。 <u>対策として、当該部品を新品と交換しました。</u></p>
②	11月1日	7号機	柏崎刈羽原子力発電所7号機の使用済制御棒におけるひびに関する原因調査の実施について（区分その他）	<p>当所は、制御棒の研究材料サンプル採取の準備の一環として、7号機の使用済燃料プールに保管している使用済ハフニウムフラットチューブ型制御棒2本の外観点検を行ったところ、1本の制御棒のタイロッドの中央部1箇所、ほぼ全周にわたって微細なひび（最大幅約0.3mm）を確認いたしました。 当該制御棒は、平成8年10月から平成14年4月まで原子炉内で使用していた制御棒で、今回確認されたひびは連続しておらず、タイロッドは破断していないものと判断しておりますが、仮にタイロッドが破断したと想定して制御棒の健全性について評価した結果、当該制御棒の構造健全性および制御棒挿入機能は確保されており、安全上の問題はないことを確認しております。</p> <p>また、当所では、7号機の原子炉内において同型の制御棒25本を使用しておりますが、これらの制御棒の健全性について、これまでの制御棒のひびに関する知見や中性子照射量の状況、解析による評価により、安全上の問題はないことを確認しており、運転中の7号機への影響はありません。</p> <p>当所は、知見拡充の観点から、本日より、当所4号機と5号機、7号機で保管している同型の使用済制御棒52本についてタイロッドの外観点検を実施し、同様のひびの有無の確認を行うとともに、今後、ひびの詳細な破面観察等を実施し、ひびの発生に関する原因調査を行うことといたしましたのでお知らせします。</p> <p>また、当所7号機の原子炉内において使用している同型の制御棒について、念のため、すでに全挿入されている2本を除く23本の制御棒の動作確認を実施することといたします。</p> <p>本事象による外部への放射能の影響はありません。</p> <p>なお、今回の調査により新たな知見が確認された場合には、「原子力発電情報公開ライブラリー（NUCIA）」等を通じて、電力会社や原子力施設メーカー・研究機関等との情報の共有化を図ってまいります。</p>
③	11月4日	4号機	タービン建屋周辺（屋外）におけるけが人の発生について（区分Ⅲ）	—
④	11月5日	7号機	柏崎刈羽原子力発電所7号機ハフニウムフラットチューブ型制御棒の動作確認の実施について（区分その他）続報	<p>当所は、現在7号機の原子炉内で使用している同型の制御棒23本について、明日（11月6日）午前10時頃より動作確認を実施することといたしました。 なお、動作確認にあたっては、発電機の出力を110kW程度まで降下させる予定です。 当所は、今後、月に1回の頻度で同型制御棒23本の動作確認を実施してまいります。</p>

プレス公表（運転保守状況）
～中越沖地震関連を除く～

平成22年11月11日
定例所長会見資料

No.	お知らせ日	号機	件名	内容
⑤	11月8日	7号機	柏崎刈羽原子力発電所7号機ハフニウムフラットチューブ型制御棒の動作確認結果について (区分その他) 続報	<p>当所7号機は現在運転中ですが、使用済燃料プールに保管している使用済ハフニウムフラットチューブ型制御棒1本に微細なひびが確認された事象を受け、11月6日に、同号機の原子炉内で使用している同型制御棒23本について動作確認を実施した結果、制御棒は正常に動作し異常がないことを確認しましたのでお知らせいたします。</p> <p>当所は、今後、月に1回の頻度で同型制御棒23本の動作確認を実施してまいります。</p>
⑥	11月10日	7号機	柏崎刈羽原子力発電所における使用済制御棒の点検状況について (区分その他) 続報	<p>当所7号機の使用済燃料プールに保管している使用済ハフニウムフラットチューブ型制御棒1本のタイロッドの中央部1箇所、連続していないものの、ほぼ全周にわたって微細なひび（最大幅約0.3mm）を確認したことから、当所4号機、5号機、7号機で保管している同型の使用済制御棒のタイロッドの外観点検を実施することとし、11月1日から外観点検を行っておりますが、本日、7号機の使用済制御棒2本に新たにひびを確認いたしました。</p> <p>今回ひびが確認された2本の使用済制御棒のうちの1本（管理番号015）にはタイロッドの中央部1箇所に、もう1本（管理番号016）にはタイロッド中央部の2箇所に、それぞれほぼ全周にわたって、連続していないひび（最大幅約0.3mm）が発生しております。制御棒（管理番号016）のひび2箇所では、タイロッドに溶接しているシースのごく一部まで短いひびが繋がっておりますが、シースの大部分についてはひびがなく健全であることを確認しております。</p> <p>なお、当所では、今回確認されたタイロッドからシース部分まで繋がっているひびの状態を踏まえても当該制御棒の構造健全性および制御棒挿入機能は確保されており、安全上の問題がないことを確認しております。</p> <p>また、当所7号機では、現在、原子炉内において同型制御棒25本を使用しておりますが、11月6日に、全挿入されている2本を除いた23本の同型制御棒について動作確認を実施した結果、正常に動作し異常はありませんでした。</p> <p>本事象による外部への放射能の影響はありません。</p> <p>当所は、今後、引き続き、現在保管している同型の使用済制御棒の外観点検を実施して、同様のひびの有無の確認を行い、調査結果についてとりまとめてお知らせいたします。</p>
⑦	11月10日	1号機	原子炉冷却材浄化系ポンプ（B）室（管理区域）における水漏れについて (区分Ⅲ)	<p>（事象の発生状況） 定格熱出力一定運転中の1号機において、平成22年11月9日午後3時55分頃、原子炉建屋地下4階の原子炉冷却材浄化系ポンプ（B）室（管理区域）で10月20日に発生した配管接続部からの水漏れ（10月21日お知らせ済み）の復旧作業を行い、配管への水張り作業を行っていたところ、水張り時に使用する空気抜き用配管につながる排水口から水（一部蒸気化）が漏れ出て、ポンプ室に漏れいきました。その後、配管への水張り作業のために開いていた空気抜き用配管の弁を開めたことにより、水漏れは停止しました。</p> <p>今回の事象により、漏れ出た水（一部蒸気化）が再び凝縮し、ポンプ室床面に溜まりましたが、水は漏えいの拡大を防止するための堰内にとどまっており、堰内の床面に溜まっていた水の量は約9リットル、放射能量は約1.1×10^7ベクレルでした。</p> <p>この作業に従事していた当社社員6名および協力企業作業員4名について、体内に微量な放射性物質が取り込まれた可能性があったことから、ホールボディカウンタによる測定を実施し、体内への取り込みはないことを確認しております。</p> <p>（安全性、外部への影響） なお、排気筒モニタや発電所敷地境界に設置され空間線量率を測定するモニタリングポスト、およびダスト放射線モニタの指示値は通常の変動の範囲内であり、本事象による外部への放射能の影響はありません。</p> <p>（対応状況） 床面に漏れた水は、昨日、拭き取りによる清掃を実施いたしました。 今後、水漏れの原因について調査いたします。</p>